

優れた

「地域による学校支援活動」推進にかかる 文部科学大臣表彰

文部科学省では、学校、家庭、地域が連携協力し、社会全体の教育力の向上に向けた取組の一層の推進を図ることを目的に、学校支援地域本部や放課後子ども教室、コミュニティスクール等、地域の方々による学校支援活動のうち、その活動内容が特に優れていると認められる活動に対して、昨年度より、文部科学大臣表彰を行っています。

県内では、上越市の「中郷の子どもを育てる会」、燕市の市立吉田小学校、新発田市の市立東豊小学校の取組が評価され受賞しました。この他にも、新潟市の市立味方小学校と市立東中野山小学校も受賞しました。

受賞団体の取組と特徴

「地域の様々な活動に参画する生徒が、まちづくりの鍵」

取組概要 学校教育を支援するだけでなく、地域の教育活動全般にかかわることで、地域の活性化、次代を担う人材の育成を行っています。一例として、地域のまちづくり振興会と連携して、地域行事の企画運営に中学生を参画させ、活躍の場を提供することで、主体性と地域愛を育てています。そのほか、子どもを核とした地域の交流活動を幅広く行っています。

特徴

- ★地域の基盤組織として、学校と連携し地域の教育活動を行うことで、地域の教育力の向上を図っています。
- ★地域行事の企画運営に、中学生が参画する機会を設け、主体性と地域愛を育てています。
- ★小中学生と地域住民が協力し、あいさつ運動「きらきらウィーク」を1年間に複数回実施しています。
- ★学校支援活動を中核に、コミュニティスクールを立ち上げました。

中郷の子どもを育てる会
(上越市)



中郷区体育祭の運営

「学校・家庭・地域が信頼と笑顔で結ばれ共に喜び感謝が育つ活動」

市立吉田小学校
(燕市)



全校弥彦登山ボランティア

取組概要 学習支援・行事支援・図書館整備など、幅広い教育支援活動を実施しています。広報活動にも力を入れており、年2回広報紙を作成し、学区全戸に配布しています。また、給食会や感謝の会などを開催し、児童とボランティアが交流する機会を積極的に設けています。

特徴

- ★学習指導・安全指導・学校行事等の多様な支援活動を実施しています。
- ★黄色いバンダナがトレードマーク。
- ★音楽会や交流給食会を通じた感謝の会を開催しています。
- ★交流室を中核にしたボランティアの輪が拡大しています。
- ★年2回発行の「吉小わくわくボランティア便り」を学区全戸に配布し、活動の様子を多くの人に知ってもらっています。

「地域ぐるみで学校を支援！多くの活動にゲストティーチャーが参画！」

取組概要 視覚・聴覚障害者の団体と協働で実施する総合学習「福祉・ボランティア」や、飲食店と協働で実施する地産地消や食育の取組など、様々な団体と連携した活動を行っています。保護者以外のボランティア参加が多いことも特徴の一つです。校内には、ボランティア専用の地域交流ルームも設置し、ボランティアが活動しやすい環境を整えています。

特徴

- ★学習支援ボランティアの協力で、地域を生かした多彩な教育活動を展開しています。
- ★職員室にコーディネーターのデスクがあり、学校との連携・協力体制もバッチリです。
- ★図書館ボランティアによる「本の読み聞かせ」が定着し、年々活動も充実しています。
- ★野菜作りや米作り、栄養士さんとのT T授業などを実施して、食育の取組を推進しています。
- ★ボランティア通信「つばさ」を学区内へ配布し、地域の理解と協力が深まっています。

市立東豊小学校
(新発田市)



総合・福祉の学習

お問い合わせは

新潟県教育庁生涯学習推進課

〒950-8570 新潟市中央区新光町4番地1

TEL 025-285-5511(内線3895) 025-280-5617(直通) FAX 025-284-9396

E-mail ngt500060@pref.niigata.lg.jp

U R L http://www.pref.niigata.lg.jp/syogaigakushu/

はぐくみネットワーク

社会全体で子どもをはぐくむ運動 広報紙

No.12

平成25年3月号

編集：新潟県地域家庭教育推進協議会
発行：新潟県教育委員会

社会全体で子どもをはぐくむ運動は、子どもたちが心豊かに健やかに成長していくように、親や家族、地域の大人一人ひとりが、それぞれの役割と責任を担い、子どもたちを支え育てていく地域をつくろう、という運動です。

今回は、『社会全体で子どもをはぐくむ運動』フォーラムの様子と、支援活動を続けている方々のお悩みナンバーワン「ボランティアの確保」を解決するための村上市の取組を紹介します。

「社会全体で子どもをはぐくむ運動」フォーラム

11月30日(金)
聖籠町町民会館

地元聖籠町の全面的な協力もあり、下越地域を中心に県内各地から279名の方々が集まりました。



講演会

「子どもをはぐくむ地域の力」

新潟大学大学院現代社会文化研究科

准教授 雲尾 周 様

県内外の取組を紹介していただきながら、学校・家庭・地域の連携の大切さや子どもを育む地域の力についてわかりやすく話していただきました。

活動紹介・情報交換

県内各地の取組や見附市が実施した防災キャンプの様子をパネルで紹介しました。子どもたちにおすすめの絵本も並べて紹介しました。



コーディネーターの郷さん、水澤さん、皆川さん

第1分科会「はじめの一步」

活動を続けられているコーディネーターの方から、活動を始めた「きっかけ」や活動に取り組む「思い」について語っていただきました。

第2分科会「活動を活性化させるために」

グループごとに課題を出し合い、その解決策を考え発表しました。雲尾先生からのアドバイスもあり、活動の指針を得る貴重な機会となりました。



みんなで知恵を出し合って



解決策を発表

活動者の現状

○地域による学校支援活動の課題

- 1位 **活動に適したボランティアの確保** 45.9%
- 2位 ボランティアの日程や活動時間の調整 36.5%
- 3位 PTAや保護者の理解、協力が十分でない 25.7%
- 3位 地域社会の理解や協力が十分でない 25.7%

○ボランティア募集の方法

- 1位 **個人的な人脈** 71.6%
- 2位 「ちらし」や「たより」 52.7%
- 3位 既活動ボランティアからの紹介 44.6%
- 3位 地域団体等からの紹介 31.1%

新潟県学校・家庭・地域の連携促進事業実施状況調査 (H23年8月実施) ※複数回答

県内の多くの地域で地域住民の参画による学校支援や放課後等支援活動、家庭教育支援活動が行われています。しかし、多くの地域で活動する上での課題としてあげられるのがボランティアの確保です。また、ボランティアの確保・募集の方法としては、コーディネーターなどの個人的な人脈に頼っています。



そのような中、市全体で学校支援活動に取り組み、ボランティア確保に効果をあげている村上市の取組を紹介します。



きょういく 郷育のまち 村上

(村上市の学校支援の取組)

学校と地域を結ぶオープンセッション



～ 学校と地域団体の出会いの場 ～

村上市では、「地域の子どもを地域のみんで育てる」ことを推進するために、地域の子どもの教育について協議する「郷育会議」を平成20年度に市内8中学校区全域で立ち上げ、市民による学校支援活動に取り組んでいます。また、学校支援ボランティアの体制整備の取組として市教育委員会が中心となって地域のNPO法人都岐沙羅パートナーズセンターと連携・協力し、市内の様々な団体と学校関係者が集まり、子どもたちのためにどのような支援ができるかなどの情報や意見を交換する場としてのオープンセッションを開催しています。

☆H24年度の様子・・・地域団体（23団体）33人、学校関係者（教員・地域コーディネーター・PTAなど）65人が参加

プログラム

開 会



活動事例紹介

- 学校での総合学習などにおける地域団体と学校が連携した実践事例の発表

団体紹介

- 参加地域団体から活動PR
※各団体から事前に団体紹介のワークシートを記入してもらい、当日参加者に配布しています。

グループトーク

- テーマを決めて意見交換
※「学校と地域で連携してやってみたいこと」をテーマにしました。

各ブースでの情報交換

- 参加者が興味のある団体のブースで情報交換
※作品等の実物を準備し、分かりやすく説明しました。
- 最後に「ふりかえり用紙」に記入していただき、参加者の思いを集約しました。

学校と地域を結ぶオープンセッション活動紹介シート		参加者氏名
連絡先 (<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 団体の所在地・事務所等 <input type="checkbox"/> その他) 一印をつけてください		職名または所属団体名
住所	TEL	FAX
メール		
*私または所属団体の活動を紹介します!		
★活動の目的や志、大切にしていること★		★主な活動内容★
★私や所属団体がお手伝いできること★ (快く力を貸したり、情報提供したり、世話のできる分野)		★料金・経費等★
(当日記入欄)		
※ご記入いただいた本シートは学校に配布します。個人としてご参加の方は公開可能部分のみご記入ください。		



参加者の声

地域の人の声

- ・学校で困っていることが想像以上にあることがわかった。
- ・子どもたちに、職人としての心を伝えたい。
- ・地域の良さを知らせてもらい、郷土愛を育てたい。
- ・学校と地域の結びつきが強くなりつつあることが感じられた。

学校職員又は関係者の声

- ・こんな身近な所に、素晴らしい活動をしている団体がとても多いことに驚かされました。
- ・各活動の方が協力的であり、学校では味わえない素晴らしいものを持っていることに気づかされた。
- ・総合学習のカリキュラムにぜひ取り入れたい活動があった。

成果

オープンセッションを通して、地域の方々に学校の現状を知っていただく良い機会となっている。また、学校にも地域とのつながりを作りたいという意識が生まれ、学校や家庭だけでなく地域社会全体で子どもを育てる体制づくりが定着してきている。



村上南小学校では、オープンセッションを通して、移動文庫「エルフ文庫」と連携し、毎月数回昼休みに絵本の読み聞かせをしてもらっています。